

セックスや人が集まる状況で感染リスクを下げるための他の方法

- 性的パートナーに、最近かかった病気や、性器または肛門などに発生した、新しい/原因不明の痛み/発疹について伝えましょう。パートナーがサル痘の症状がある場合やサル痘であると診断された場合は、セックスや肌と肌との接触を避けてください。
- 洗われていない台所用品や、コップ、タオル、寝具、または衣服を共有しないでください。
- コンドームを使用してください。コンドームだけではサル痘の感染を完全に予防することはできませんが、感染リスクを下げたり、肛門や、口、または性器などの敏感な部位の痛みを予防できる可能性があります。
- 性的パートナーの数を減らしてください。
- 見知らぬ人物とのセックスやセックスパーティーといった、リスクの高い活動を避けてください。
- 人々が最小限の衣服しか身に着けていない場や、直接的、および親密な肌と肌の接触がある場に行くことを避けてください。
- 人混みでは肌を露出しないでください。

治療

サル痘に感染している人の多くは症状が軽度で、抗ウイルス薬を使用しなくても回復しています。敏感な部位に発症した病変や市販薬では抑えられない痛みがある、重度の感染者には、テコビリマット (TPOXX) と呼ばれる抗ウイルス薬を投与することができます。また、この抗ウイルス薬は、重症化リスクのある方にも使用されます。

体の一部に今までにないような、原因不明の発疹や病変がある場合は、**すぐに医師に連絡しましょう**。サル痘に感染している人、または感染が疑われる人と接触した場合に特に重要になります。



かかりつけ医がいない場合：

- 1-833-540-0473（毎日・午前8時から午後8時半まで受付）まで公衆衛生局に電話でご相談いただくか、
- [お近くの パブリックヘルス・セクシヤルヘルスクリニックにご来院ください。](#)

QRコードを読み取って
場所を探す



サル痘 について 知っておくべきこと



サル痘に関する詳細は、
ph.lacounty.gov/Monkeypox/を参照してください。
9/15/2022 (Japanese)



COUNTY OF LOS ANGELES
Public Health

サル痘とは？

サル痘とは、サル痘ウイルスによって引き起こされる感染症です。サル痘に罹患した人と密接に個人的な接触した人は誰でも感染リスクがあります。

サル痘の前兆や症状にはどのようなものがありますか？

サル痘の症状は、通常、ウイルスに曝露してから3週間以内に現れます。

最も一般的な症状は、次のような発疹です。

- ぶつぶつ、にきび、水ぶくれ、かさぶたのように見える。
- 性器、肛門、口、手、顔など体のどこにでもできる。
- 一箇所だけ、または全身に広がることもある。
- かゆみや痛みを伴う（特に口の中や肛門の場合）。



また、インフルエンザのような症状が出ることもあります。



熱/悪寒



疲労感、筋肉の痛み、および頭痛



リンパ節の腫れ

これらの症状は、発疹が出る1~4日前または後に現れることがあります。全ての人がこのような症状を発生するとは限りません。



注：発疹は上の写真とは異なって見えることがあります。

サル痘はどのように感染するのですか？

サル痘は、以下のような濃厚な接触や、親密な接触、および/または長時間の接触で拡散することが知られています：

- 性行為などの親密な接触の際に、サル痘の発疹、かさぶた、ただれなどに直接皮膚と皮膚が接触する。キスやマッサージ、抱擁なども含まれます。
- 気道分泌物に接触する。サル痘患者との長時間の密接な対面接触や、キス、抱擁、セックスなどの親密な身体的接触で起こることがあります。
- サル痘感染者が使用し、洗浄されていない物や布（洗っていない衣類や寝具、タオルの共用など）に接触する。

サル痘感染者は、症状が出始めてから、発疹が治癒し、かさぶたがはがれ落ちて新しい皮膚が再生されるまでの間、周りの人に感染させる可能性があると考えられています。通常この期間は2週間から4週間ほどです。

サル痘に感染している妊婦は、胎盤を通じて胎児にウイルスを拡散させる可能性があります。

サル痘は、何気ない会話や、罹患者のそばを通っただけでは感染はしません。

サル痘に感染しないために

- ①サル痘の症状がある人とのスキンシップや長時間の密接な接触を避ける。
 - 症状がある人の発疹やかさぶたに直接触れないでください。
 - 症状がある人とキスや、ペッティング、またはセックス（オーラル、アナル、膣性交）をしないでください。
- ②サル痘の症状がある人が使用した後に洗われていない物や製品を触らない。
 - 洗濯していない限り、ベッドや、タオル、衣服、または毛布を共有しないでください。
- ③よく手を洗う。
 - 水と石鹸または手指アルコール消毒液を使って頻りに手洗いをしてください。手洗いは、食事の前やトイレの後に行うことが特に重要です。洗っていない手で顔に触れないようにしてください。
- ④対象者は予防接種を受ける。
 - サル痘の感染リスクが高い方は、ワクチンを接種することで感染リスクを低減させることができます。また、発症予防や症状緩和のために、サル痘感染者と接触した方もワクチン接種を受けることができます。詳細につきましては、かかりつけ医までお問い合わせいただくか、ph.lacounty.gov/monkeypoxをご覧ください。